

Lecture Note1 補論：日本の名目為替レートの運命 購買力平価説と物価に対する期待の観点から

図1：名目為替レート

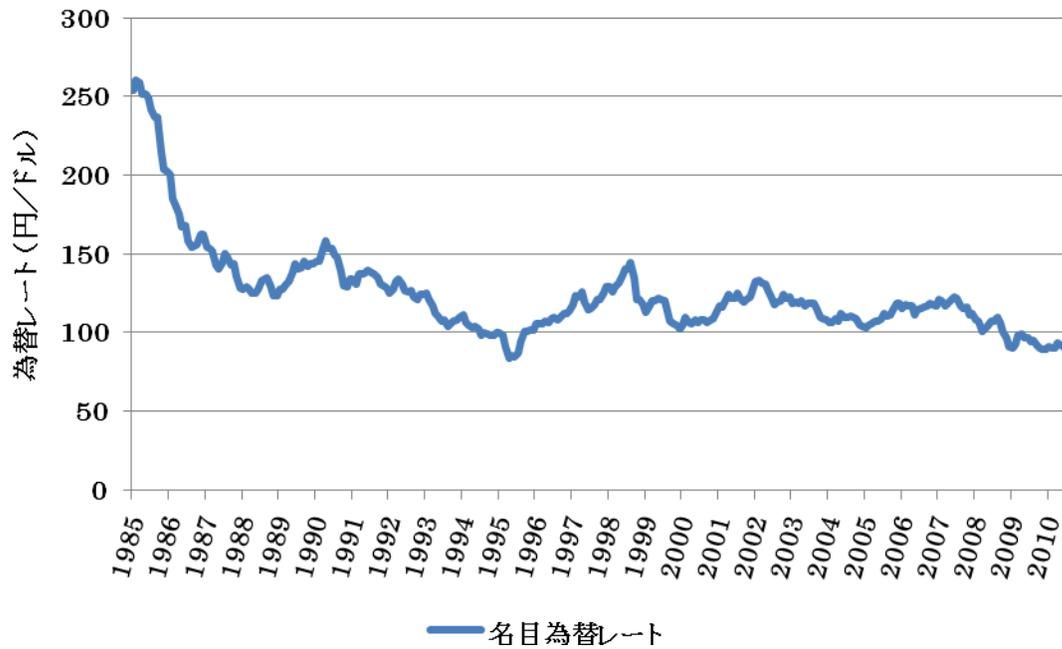
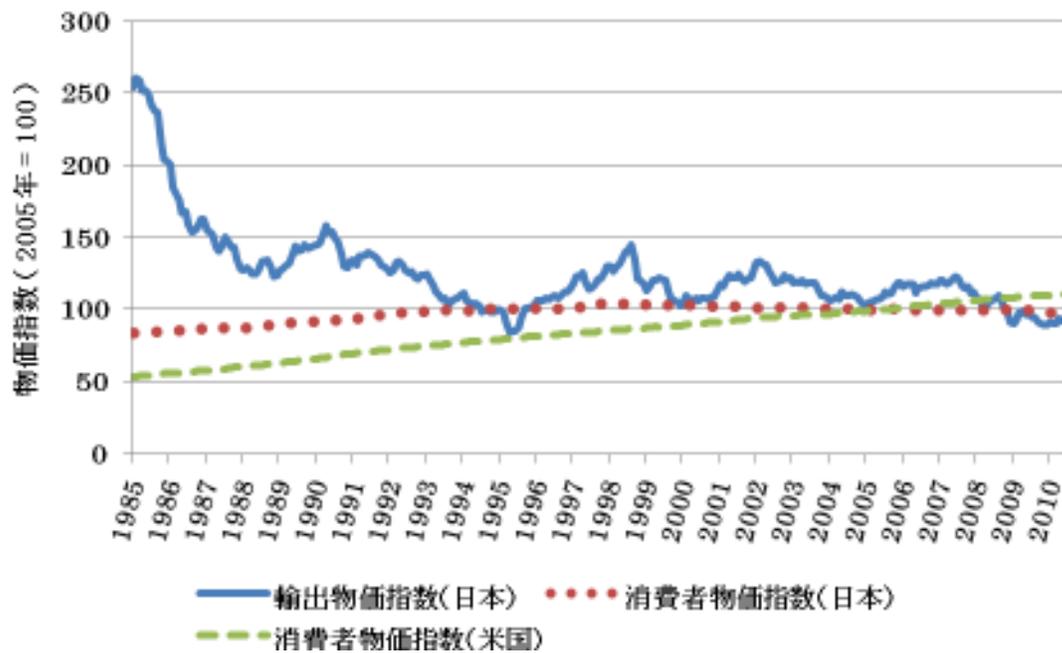


図2：日米の物価動向



物価に基づく為替レートの決定式

円・ドル名目為替レート (円/ドル) × () = ()

したがって,

$$\text{円・ドル名目為替レート (円/ドル)} = \frac{(\quad)}{(\quad)}$$

この式に上図の日米の物価水準の値を代入してみよう.

図3: 購買力平価による為替レート
(日米消費者物価指数ベース)

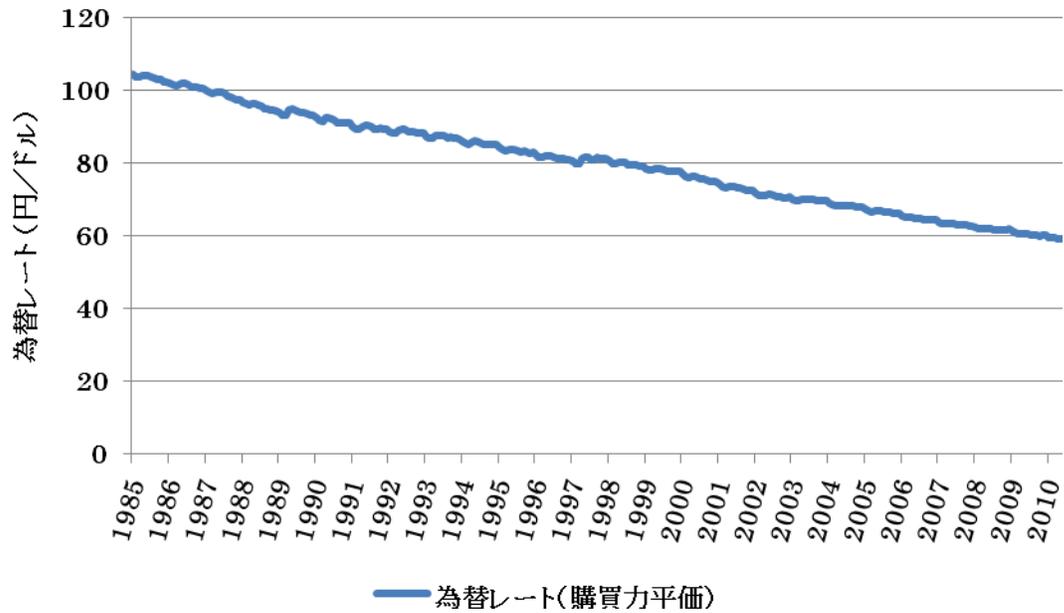
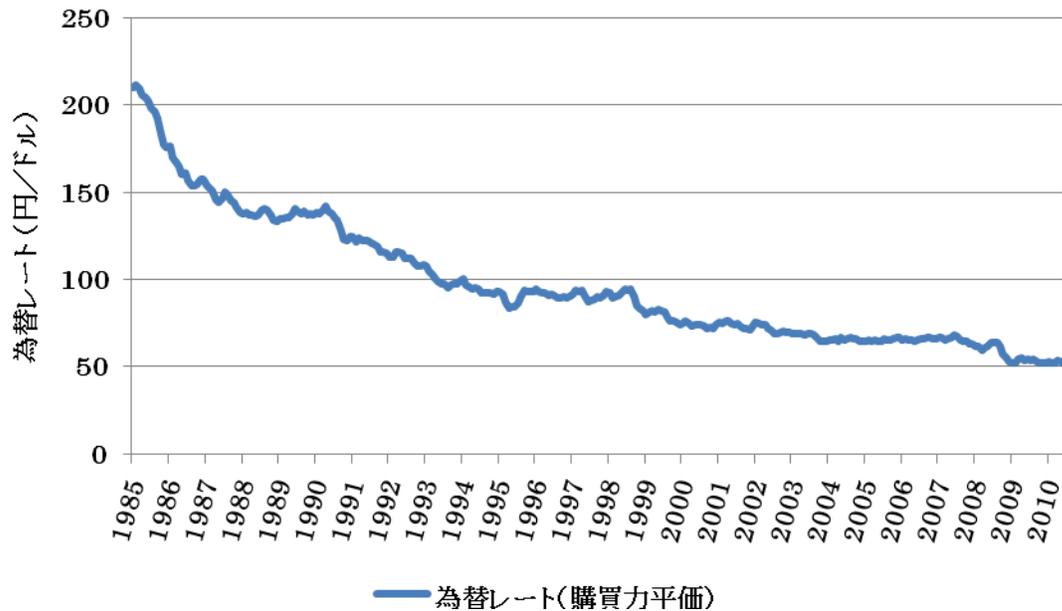


図4: 購買力平価による為替レート
 (輸出価格指数(日本)と消費者物価指数(米国)ベース)



日本ではこれまで空前絶後の金融緩和をしているのに、何故、デフレが起きるのか？¹

デフレを克服することが出来るのか？

→ () ノミクスへの“期待”

上の為替レートの決定式を次のように書き換えてみよう

$$\text{円・ドル名目為替レート (円/ドル)} = \frac{\text{将来の日本の物価水準の ()}}{\text{将来の米国の物価水準の ()}}$$

() ノミクスを通じて、デフレが克服され、将来、日本の物価水準が“**上がるだろうと期待**”すれば、() の方向へ動く

¹ 関心のある学生は、以下の論文を読んで欲しい:

<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/bitstream/10086/17469/1/HJeco0500100290.pdf>

私の知る限り、現在の日本のデフレを説明出来ている理論モデルはこれだけである。

以上の考察は、将来の物価水準をどのように“**予想**”しているか、という点が、現在の為替レートの決定に重要な役割を果たしていることを示している。

Lecture Note 2 では、将来に対する“**予想**”や“**期待**”が経済をどのように動かしているのかについて考えていこう。